「世界のプラスチックリサイクル市場2022年－2031年：素材別（PET、PP、HDPE、LDPE、PS、PVC、その他）、用途別」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年11月8日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のプラスチックリサイクル市場2022年－2031年：素材別（PET, PP, HDPE, LDPE, PS, PVC, その他）、用途別（包装、自動車、建築、繊維、その他）」調査資料の販売を2022年11月8日 に開始いたしました。プラスチックリサイクル市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のプラスチックリサイクル市場2022年－2031年：素材別（PET, PP, HDPE, LDPE, PS, PVC, その他）、用途別（包装、自動車、建築、繊維、その他）
■英文タイトル：Plastic Recycling Market （Material: PET, PP, HDPE, LDPE, PS, PVC, and Others; and Application: Packaging, Automotive, Construction, Textiles, and Others） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年11月2日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
プラスチックリサイクルは、プラスチック製品の製造過程（消費者前廃棄物）や消費者による製品使用後（消費者後廃棄物）に廃棄されるプラスチック廃棄物やスクラップを回収する機械的・化学的プロセスです。費用対効果の高いプロセスであり、二酸化炭素排出量の削減にも寄与しています。リサイクルPET樹脂は、包装や建築の分野で広く使用されています。様々な製品の一次および二次包装に採用されています。建設分野では、プラスチック製木材、道路縁石、湿式屋根膜

、歩道、ダクトや床材、フェンスなどの低価値製品がリサイクルプラスチックから製造されています。また、食品包装用途に再生プラスチックを使用する場合は、FDAなどの規制当局の認可が必要です。

ヨーロッパを中心とした先進国では、公害を減らすためにプラスチック廃棄物の埋立地投棄を禁止しています。ヨーロッパのいくつかの国では、ここ数年、ほぼすべての廃棄物の流れ、特に家庭ごみと同様の廃棄物について、ペットボトルのリサイクルと廃棄物の埋立地からの転換が比較的順調に進んでいます。2016年、欧州連合（EU）の10カ国が、プラスチック廃棄物の埋立地での投棄を禁止しました。これらの国では、禁止された後、プラスチックの回収率が大幅に上昇したことが記録されています。埋立地の廃棄物管理を規制するEU指令「埋立指令」は、2035年までに、自治体から排出される廃棄物のうち、埋立で処理される割合を10%以下にすることを目標としています。

世界中の政府やいくつかの民間団体は、プラスチックごみが海に流れ込むのを防ぐために、プラスチックごみを回収する大規模なプログラムを開発しています。これらのプログラムは、埋め立ての危険性を軽減するために、プラスチックバッグのリサイクルを促進しています。また、廃棄物を減らすために、ボトルやその他のプラスチック製品をリサイクルすることを好む人が増えています。カーブサイドリサイクル、ドロップオフリサイクル、買い戻しセンター、デポジット/リファンドセンターなど、さまざまな手法により、最大限のゴミをリサイクルに回すことができるようになっています。プラスチックバンクは、ゴミのポイ捨てを防止するために、プラスチック製のゴミを他の製品、現金、サービスと交換するものです。2022年10月
、インドネシア政府海洋水産省は、海からプラスチックゴミを回収する伝統的な漁師に報酬を支払うことが期待される67,600米ドルのプログラムを開始しました。この4週間の取り組みは、2025年までに海洋プラスチック廃棄物を70%削減するための幅広い取り組みの一環です。

世界で生産される原油の約8%は、プラスチックの製造に使用されています。プラスチックをリサイクルすることで、原油や電力にかかる費用を削減することができます。1,000kgのプラスチックをリサイクルすると、685ガロンの石油、約5,800kWhの電力、30立方メートル以上の埋立地を節約することができます。さらに、再生プラスチックの価格は、通常、バージンプラスチックよりも低く設定されています。インドのプネー市にあるインフォーマルな廃棄物管理サービス「SWaCH Pune」では、プラスチック廃棄物の大幅な分別と高いリサイクル率を実現しています。年間約3万トンのプラスチックを回収し、市内のプラスチック廃棄物の約52%を埋立地から転換しています。SWaCH
Puneは、従来の機械化・集中化された廃棄物管理アプローチよりもはるかに低いコストで、プラスチック廃棄物の収集とリサイクル活動を実施しています。廃棄物回収業者は、労働力、輸送、廃棄物収集・分別装置、処理コストにおいて、毎年推定1250万米ドルを節約しています。

プラスチックリサイクルの世界市場は、素材別にPET、PP、HDPE、LDPE、PS、PVC、その他に分類されます。2021年の世界市場は、HDPEセグメントが32.8%のシェアで支配しています。プラスチックリサイクル市場に関する最近の洞察によると、同セグメントは予測期間中にCAGR
7.7%で成長すると予測されている。包装や住宅用途での高密度ポリエチレン（HDPE）の需要増加が、このセグメントを牽引しています。HDPEは最も一般的なリサイクルプラスチックであり、通常、FDAによって食品との接触が安全であるとみなされています。ポリエチレンテレフタレート（PET）よりもはるかに強度が高く、安全に再利用することができます。HDPEは、食品や液体への溶出リスクが非常に低いため、ミルクジャグ、ヨーグルトの桶、洗浄剤容器、ボディソープのボトル、玩具などの製品製造に使用されています。リサイクルされたHDPEは、ペン、プラスチック製材、プラスチック製フェンス、ピクニックテーブル、ボトルなど、さまざまな製品に加工することができます。

プラスチックリサイクルの世界市場は、用途によって包装、自動車、建設、繊維、その他に分類される。包装分野は2021年に世界市場の38.4%の主要シェアを占め、予測期間中にCAGR7.5%で成長すると予測されている。包装分野は、再生プラスチックの主要なエンドユーザーである。プラスチック包装は通常、硬質包装と非硬質包装の2つの形態で実施されます。硬質包装には通常、容器、硬質ボトル、箱が含まれ、軟質包装にはプラスチックラップ、キャリーバッグ、小袋、パケット、カバーが含まれます。

2021年のプラスチックリサイクルの市場シェアは、アジア太平洋地域が69.6%を占め、予測期間中は年率6.5%で成長すると予想されています。アジア太平洋地域のプラスチックリサイクルの市場規模は、2021年の売上高で276億米ドルであり、2031年には517億米ドルに達すると予測されます。プラスチックの消費量の増加やプラスチック廃棄物管理への投資の増加が、同地域の市場を牽引しています。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/plastic-recycling-market-material-pet-pp-hdpe-ldpe-ps-pvc/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.co.jp/
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com